

	純心	一校 訓一	富谷市立富谷中学校 学校だより第13号 令和4年10月7日 文責：佐藤 広昭 富中 HP 
		毅 然 強 韌 純 朴	

前期終業式 校長講話

令和4年度の前期が今日で終わります。

みなさんは今、どんなことを思っていますか。一番気になっているのは、やっぱり通信票でしょうか。通信票は、先生方がこれまでみなさんのことを見てきて感じたこと、頑張ってもらいたいことなどについて、心を込めてじっくり考えて書いたものです。どうぞ、みなさんも心を込めて読んでください。

私からは、この前期のことについて少しだけ感想をお話します。令和4年度が始まった頃から、少しずつコロナに関する制限が緩やかになってきました。いろいろな行事が、少しずつ行われるようになってきました。でも、みなさんは、2年間の制限があったため、行事などの経験ができていませんでした。しかし、そんな中でも、3年生を中心に、少しでも富中生が楽しめるように、いい思い出を作れるようにと、一生懸命考えて行事を行ってくれました。4月の対面式がいい例です。あの時のみなさんの表情には、『不安だけどころかしよう』という思いがあふれていました。そんな気持ちを持てる富中生は素晴らしいなあと思いました。

その後も運動会や中総体、いろいろなコンクール、どれも精一杯取り組みました。きっと、みなさんの心の中には、素敵な思い出ができてあがったのではないのでしょうか。制限された中でも精一杯やれば何かを創りあげることができる、制限の中でもできることはある、そんなことを感じたのではないのでしょうか。その思い出、その気持ち、大切にしてください。

そして、もうすぐ後期になります。この1年の後半です。1年生は1年生の、2年生は2年生の、3年生は3年生としての新しい目標が出てくると思います。どうか、この秋休みには、この1年の後半、どのような目標を持って生活し、何を目指すか、3月にはどうなっていたいかを考えてみてください。学年の終わりの自分の姿を想像し、今すべきことは何かを考えてみてください。きっと後期が始まってすぐに、学級や委員会、部活動などでその目標を考えることになるでしょう。秋休みからじっくりと考えておいてください。

どうぞ、今日、家族と一緒に通信票を見て、これからの生活をイメージしてください。これからのみなさんの生活を応援しています。

富谷中学校の「生活アンケート」について

前期に実施した生徒対象の「生活アンケート」では、「いじめ認知ゼロ」という結果になりました。生徒同士のトラブルはありましたが、陰湿ないじめに至らなかったという見解です。今後もチャンス相談や教育相談などを通じて、生徒の変化に常にアンテナを高くしてトラブル等がないように努めていきたいと考えています。

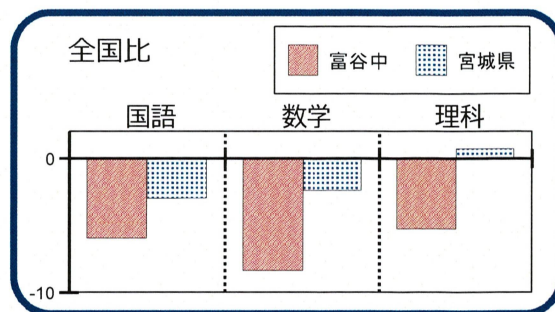
令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

富谷市立富谷中学校

1 調査結果について

(1) 学力状況調査について

- ①国語、数学、理科ともに全国・県平均を下回りました。
- ②選択式の問題の正答率は、全国・県平均に近くなっています。
- ③記述式の問題では、無回答率が高い傾向にあります。
- ④全体的に、問われていることを理解したり、自分の言葉にして解答することが苦手です。



(2) 学習状況調査（質問紙調査）について

① 良い傾向が認められるもの

- 将来の夢や目標を持っている。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- 理科の勉強が好き。



この結果から、自分の将来を見据え、普段の学習や生活の中で、様々なことを学び、内面の成長が感じられます。富中生の良さが感じられる結果でした。

② 課題となるもの

- 一日の学習時間が少ない。
- 携帯等での動画視聴の時間が長い。
- 自分の良いところがわからない。



主に、学習習慣に関することに課題が見られました。また、自分の良さを感じ、生かしていくことに自信がないのではないかと思います。

2 今後の取組について

本校では、この結果を受け、次のことに取り組みます。

(1) 国語

- 生徒の意欲を高め、意欲を引き出す言語活動を設定する。
- 「何ができるようになったか」を意識させ、達成感を高める。
- 複数の文章に触れさせ、「何が書かれているか」「何が問われているか」をつかむ場面を多く設定する。

(2) 数学

- 基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせるため、授業の復習プリントでの定着を図る。
- 筋道を立てて説明する力を付けさせるために、既習事項を活用する場面を設定する。

(3) 理科

- 実験の目的・内容を十分に把握し、主体的に観察・実験を行うことができるように工夫する。
- 資料や結果について科学的根拠に基づいた考察を行い、文章等で表現する場面を多く設定する。

(4) 生活場面等

- 一人一人の良さを認め、励ます声かけを続けるとともに、生徒同士でも良さを見つける場面を設定する。
- 家庭での過ごし方や家庭学習の充実について、家庭と連携する。

子どもたちの学力や社会性をより高めるために、今後も指導・支援を続けていきます。ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。